

年次報告書

ANNUAL REPORT

2013

NPO法人アカツキ

AKATSUKI

息苦しきの正体は

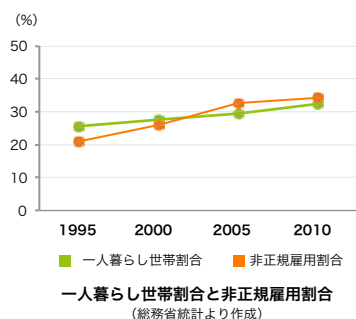
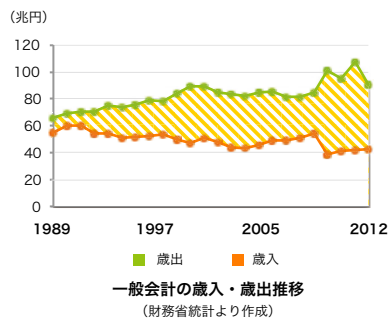
日本社会における息苦しき——。それは人と人が協力しあう仕組みが弱ってしまつたことにあるのではないかと、私たちは考えます。全体主義のムラ社会から、自由を求めた個人主義の生活へ。しかし、お金があつても孤独になりすぎた日本人は幸せではないようにみえます。時間も、お金も、そして仲間もない、社会の中に居場所のない人たちが、少しずつ増えています。自分さえよければ身を守れた時代は終わったいま、私たちはこれからどんな社会をつくっていったらよいのでしょうか。

崩壊するセーフティネット

近年「課題先進国」とも表現される日本社会において、私たちの暮らしの困難さは、多様化・複雑化しています。一方で、国の歳出に対して、税収は約46.9%にとどまっております、これまでの行政による画一的なサービスを維持することさえ、厳しいのが現状です。その結果、私たちを支えるセーフティネットが崩壊しつつあります。

コミュニティから孤立する人々

非正規雇用者の増加や長時間労働の常態化により、職場や地域のコミュニティから孤立する人々が増え続けています。2010年には、一人暮らし世帯と非正規雇用の割合はともに30%を超え、3人に1人が家族に頼りにくい生活環境や先行き不透明な仕事環境におり、これらの環境は社会的孤立に拍車をかけています。



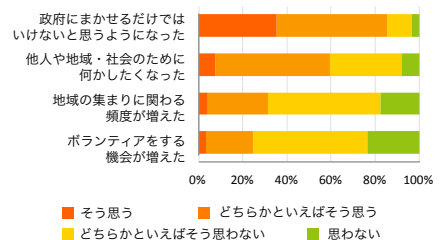


私から、私たちへ

今から16年前、市民・民間側からの働きかけにより、日本社会において画期的な「NPO法」という制度が産声をあげました。誰もが自分の意志を社会に発信し、形にしていくことができる仕組みであり、「私」の問題意識から、仲間を集めて「私たち」になり、寄付者やボランティアを募ることで仲間を増やし、「私たち」そのものを広げていくことのできる制度です。地縁でも血縁でも、また会社に雇われるお金でもなく、課題意識や志でつながることができます。私たちは一部の強いリーダーや国や行政に依存することなく、自分たちで新しい社会を想像し、創造できるのです。

NPOと寄付文化の成長

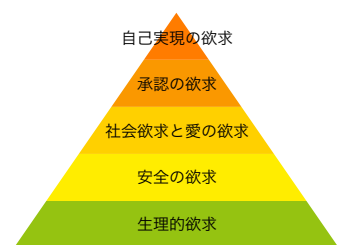
ますます複雑化する社会課題に対して、私たち市民が自ら主体的に取り組んでいくしか解決策はありません。しかしながら、東日本大震災後、社会貢献意識の高まりに反して、実際に行動が変化した人はわずか30%にとどまります。寄付とNPOの文化や市場を育て、参画のきっかけや仕組みをつくっていくことが求められています。



東日本大震災後の意識の変化
(日本ファンドレイジング協会「寄付白書2012」)

持ち寄る、寄り合う場づくり

心理学で有名な「マズローの欲求階層説」では、人間は高次の欲求として居場所や役割を求めると語られています。これからの社会には、経済的豊かさとは異なる、時間、技術、知識など、一人ひとりが自分の出来ることを持ち寄り、また寄り合うことのできるという新しい価値観や豊かさでつながる場所や機会が求められています。



マズローの欲求階層説

● ビジョン — 目指すべき社会像

持ち寄って働く、寄り合って暮らす。 それぞれの『私たち』に拓かれた社会へ。

私たちが目指す未来は、『ソーシャル・キャピタル*』が豊かな社会です。

「社会関係資本」とも訳されるこの言葉には、私たちがお金に置き換えてきた価値、つまり持ち寄り協力して働くこと・寄り合い支え合って暮らすことが含まれています。「みんな一緒」でも、「私だけ」でもない、多様な「私たち」があちろちらに存在し、互いに認め合いながら、また一方で互いの要望をはっきり伝え、合意を形成しながら、多様性の中でともに生きていく社会です。

* 信頼や規範、ネットワークといった要素があり、構成員の助け合いが盛んな社会組織のこと。

● ミッション — 果たすべき使命

① 参加と協力の仕組みを育てる

NPOが持つ最も大きな武器は「非営利である」という約束によって、多くの人の信頼と共感を得られることです。寄付とボランティアという「参加と協力の仕組み」を使って、人々の主体性や社会を変える力を高めていくことがアカツキの役割です。

② 試されない関係性を広げる

私たちは常に、肩書や収入、能力、容姿など、大小様々な評価にさらされながらこの社会を生きています。アカツキは、「あなたは何者であるか」という問いに試されない、ありのままにいられる場と関係性をつくり、社会に広げていきます。



アカツキの約束

私たちは、アカツキに関わるあなたにとって、
【最初の希望】となることを約束します。
受け止める、隣に居る、ともに頑張る、逃げない、
そして決して独りにしないあり方を、何よりも大切にします。



これまで2年間かけて構築してきた、ビジョンとミッションに続いて、
2014年4月、アカツキのロゴデザインができました。

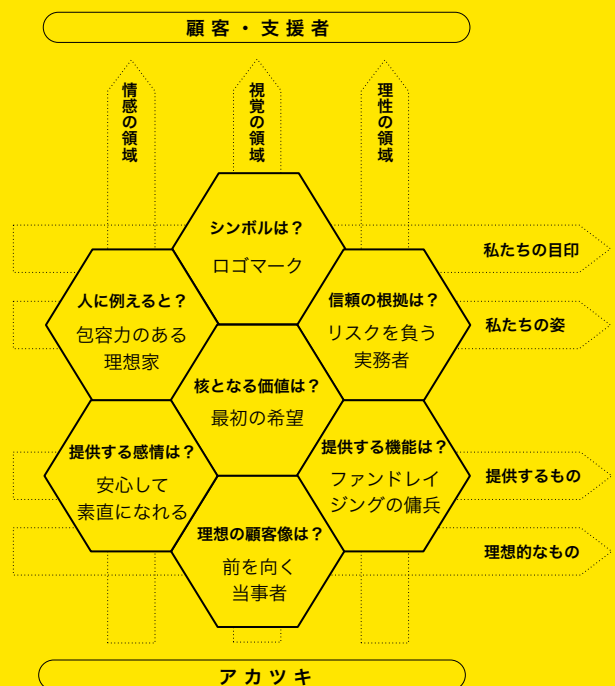
いびつながらも互いに寄り添い、支えあう関係性を表現し、
また、暗い夜を彷彿させる深い紺色から、
『私たち』に拓かれた社会、明るい光の朝を目指す姿勢、
アカツキ=暁は「夜明け前」を担う存在であることを
私たちのメッセージとしてロゴに込めました。

ブランドイメージ

アカツキにおけるブランドとは、みなさんとの「約束」そのものです。私たちの核となる価値（Core Value）には「最初の希望」を置き、その周りには顧客・アカツキの双方の目線と情感・視覚・理想という表現の仕方の、さまざまな視点から私たちのあり方を説明しています。

理想家でありながら実務者であること、傭兵でありながら安心できる存在であること。一見、矛盾しているように感じるかもしれませんが、しかしながら、未来を見ながらも、いまと真摯に向き合うというあり方を私たちのブランドイメージと考えています。

※株式会社電通の「電通ハニカムモデル」を参考にさせていただきました。



2013年度のお礼

アカツキフェロー（正会員）をはじめ、サポーター会員や協働団体、行政の方々、プロボノ、ボランティア、インターン生、事業アドバイザーなど、様々な形で支え、参画して下さったみなさまに、心より御礼申し上げます。

……と書いてしまうと、とても他人行儀な気がしてしまいますので、改めてアカツキなりに言いなおすのであれば「仲間になってくれて、一緒に、楽しいことも、負担も、分かち合ってくれてありがとう！」とお伝えしたいと思います。

設立1年目は、自分たちが「活動」を「仕事」にしていくことに精一杯で、アカツキの周りにいる

みなさんがせっかく支援の意志を表明し、手を伸ばして下さっていても、こちら側から提案ができないような状態でした。2年目である2013年度は、インターンも具体的なプロジェクトに関わってもらうことができ、Webサイトやマンスリーレポートでの報告、プロボノ、ボランティア、サポーター会員の受け入れ体制も少しずつ整えることができました。

アカツキの中心メンバーが牽引して社会を変えるのではなく、アカツキという舞台を通じ、多くの方々と一緒に社会を良くしていく気持ちでいます。今後ますますよろしくお願いします。

ご寄付・会費・ボランティアなどは、全て我々が成果を出すためにみなさまから「託された」「預かった」貴重な力だと思っております。ありがとうございます。



代表理事
永田 賢介

2013年度を振り返って

本年度は、私たちの根拠となる成果とノウハウの構築に力を入れた年となりました。特に福岡県からの委託である「認定取得促進事業」においては、NPO法人10団体に対して、主事業であるファンドレイジング・コンサルティングを約半年間に渡って実施しました。個別の相談依頼も増加し、独自のフレームワーク等の確かなノウハウと成果の積み上げを実感しています。一方で、組織の評価指標の精度や、明確な成功体験の提供など、まだまだ不十分な点も見えてきました。これらをいかに改善し、今後の力に変えていくかが来年度の大きなテーマでもあります。

また、コレクティブスペース「エンガワ」では、とても嬉しい出来事がありました。エンガワを通

じて出会ったふたりが、お菓子をつくるパティシエと、紅茶を淹れるマイスターとして、月に一度のカフェを始めたのです。はじめの一步を応援する、また心地よく来訪者の力を引き出せるような場に変化しつつあることを感じています。

本年度は事務局に新しいスタッフが加わり、事業を支える体制が大きく強化されました。これまでのインターンの受入も6名となり、卒業生も各分野で活躍しています。これらの活動を行うことができるのは、みなさんの日頃からの温かいご支援があってこそです。より良い社会をつくっていく私たちの仲間として、これからもアカツキをどうぞよろしくお願いします。

これからの発展と進展のために、私たちの根拠となる実績とノウハウ構築に務めた1年でした。手応えを感じるこのできる成果も多く生まれました。



事務局長
松島 拓



代表理事
永田 賢介
(ジン)

法人設立時から、アカツキが何をするのかよくわからないまま、我々を信頼し、参加して下さったみなさん、ありがとうございます！そろそろ明確なビジネスモデルも見えてきましたので、どうぞご期待ください。

Q. 今年度、印象に残ったことは？

理事の実家に集まったの新年ミーティング。初詣にも行き、親戚のような関係がとけていることを幸せに思います。

Q. つくりたい社会は？未来は？

頑張りたい時にチャレンジができて、疲れた時には休める社会。お金の良い流れと、信頼の関係性がある未来。



副代表理事
佐々木 悠史
(ゆうじ)

アカツキも無事に2事業年度を終えることができました。最近では福岡内外の団体、プロボノのみなさんと協力して事業を行うことも少しずつ増えてきています。正念場の3年目、引き続きよろしくお祈りします。

Q. 今年度、印象に残ったことは？

アカツキならではのファンドレイジング支援について、行政も巻き込みながら具体的に事業展開をしたこと。

Q. つくりたい社会は？未来は？

具体的に手に取れる選択肢があり、希望が持ち続けられる社会。



理事
原口 ゆい
(ゆいゆい)

みなさんご存知の通り、常にてんやわんやのアカツキ。みなさんの力をうまく巻き込んで、ビジョンの達成に努めてまいります。次年度も、一緒に駆け抜けてください。よろしくお祈りします！

Q. 今年度、印象に残ったことは？

年度末にゆうじさんと喧々諤々やりあった記憶が鮮明です。次はたくみんあたりとやりあいたいと思います！

Q. つくりたい社会は？未来は？

豊かな社会。豊かさとは、複雑さです。単純でなく、簡単でなく、丁寧で手込んだ社会で生きたいです。



理事
高柳 希
(のんちゃん)

私は今年一年でさまざまな学びと喜びを得ると同時に、さらなる課題や不安にも気付いたという思いもあります。しかし、それを理解し、寄り添ってくれるみなさんがいることが私にとって心強く、希望です。

Q. 今年度、印象に残ったことは？

理事である原口さん(ゆいゆい)の家のミーティング！こたつで緩やかに激論したのが印象的です。

Q. つくりたい社会は？未来は？

何を持つていかではなく、何を大切にしているかをわかり合う社会。



理事
黒島 拓
(たくみん)

3年目を迎えるアカツキ。仲間も増えました。仕事のパートナーも増えました。応援してくれる方も増えました。それらが私たちの力であり、勇気です。これからもこの“荒れた”大海原と一緒に歩んでください！

Q. 今年度、印象に残ったことは？

「ここだけの話だけど」と仕事先の方からお話をしてもらえたこと。信頼してもらえたことがとても嬉しかったですね！

Q. つくりたい社会は？未来は？

明日をワクワクしながら、ぐっすり眠れる社会。一人ひとりが役割と選択を自分の手で持てる未来。



職員
黒田 美穂
(くるるん)

アカツキの一員になり、転勤族の私にも福岡の知り合いが一気に増えました。ともすると母友だけになりがちな日常に、新鮮な風を吹き込んでくれたのはアカツキ会員のみなさんです。今後の見える景色も楽しみ！

Q. 今年度、印象に残ったことは？

昨春秋、アカツキ事務局に私を迎えてもらったことです。若人たちにオカンの立場からおせっかいできるのが最高☆

Q. つくりたい社会は？未来は？

愛あるおせっかいを気軽にできる社会。そして受けたおせっかいをまた次の誰かに。想いのバトンが託されていく未来。

The Story of 2013

ダイジェストにまとめました！

4月



5月



6月

7月



9月

10月



4月

- 事務局合宿@上毛町
- @福岡・事務局
准認定ファンドレイザー必修研修
- コーディネーター登壇
- プロボノアジアキックオフフォーラム・スタート
- あすみん協働NPO法人入門講座・

5月

- ウォーローズ福岡Webサイト・公開
- ビジネス委員会オープンセミナー・講師
- 福岡県委託事業「認定取得促進事業」・
- 福岡県委託事業「認定取得促進事業」・
- 北九州市民活動サポートセンター・講師
- スタート

6月

- 2013年度通常総会・開催

7月

- 草莽塾 in 福岡・スタート
- REP Webサイト・公開
- REP W 報告書作成・コンサルティング

9月

- グリーンシティ福岡Webサイト・公開

10月

- Webサイト公開
- ストリート・プロジェクト
- プレスリリースセミナー・開催
- 新聞記者が伝える！NPOのための

2013年度は事業を通して、さまざま変化を起こしてきました。これまでは福岡市内の活動が主でしたが、北九州市、佐賀県にも活動の範囲が広がり始めています。また、福岡に根ざした現場の「実践=output」と並行して、韓国や東京、京都、愛知など、他地域における先進的な取り組みの「学び=input」も重視しました。



- 11月**
 - 福岡 Civic Meeting Vol.1・開催
- 12月**
 - Webサイト・リニューアル
 - 障がい者より良い暮らしネット
- 1月**
 - 福岡市職員NPO研修・講師
 - 九州産業大学・講師
 - 国際シンポジウム参加@東京・京都
 - ソーシャル・インパクト・ボンド
 - 理事年始合宿@糸島
- 2月**
 - @クルミドコーヒー・開催
 - アカツキフェロー（正会員）の会
 - 九州産業大学・講師
 - 国際シンポジウム参加@東京・京都
 - ソーシャル・インパクト・ボンド
 - 理事年始合宿@糸島
- 3月**
 - おしごとスタジアムブース出展
 - セミナー・開催
 - 小さく始める！クラウドファンディング
 - パネルディスカッション・登壇
 - 山梨県立韮崎高校キャリア教育推進講座
 - ミーティング・ブース出展
 - 北九州ソーシャル・ビジネス
 - ビーンズな朝モヤ・開催
 - 報告会・開催
 - ファンドレイジング・日本2014
 - 2014・ブース出展／登壇
 - ふくおかNPO・ボランティアあふえすた
 - 福岡市共働カフェ・司会進行
 - @東京・参加
 - ファンドレイジング・日本2014

ファンドレイジング

アカツキは、ファンドレイジングを単なる「資金調達」ではなく、社会の当事者として、ともに課題の解決と未来を目指す「仲間づくり」と位置づけ、寄付の文化と市場を育てていきます。

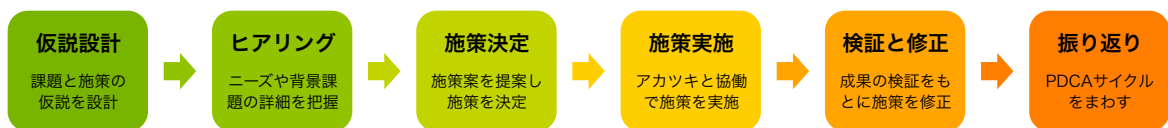
NPOが寄付や会費を集めていく仕事は、とても難しく、手間がかかり、また日本においては未だそのノウハウや基本的な考え方が十分に普及しているとはいえません。平成24年福岡県『NPO法人の資金調達に関する調査報告書』によれば、県内約1600法人のうち、寄付収入が0円、寄付の募集を行っていない団体が全法人の50%にも上ります。

このような状況に対して、アカツキは一方的にアドバイスを行うのではなく、ともに知恵を絞り、汗をかき、当事者として戦略設計に取り組んでいます。人の共感を集め、ご支援をいただく仕事にラクはありません。

私たちはこの「ハンズオン（伴走型）」という事業形態を大切にしています。

2013年度、アカツキは福岡県委託事業「認定取得促進事業」を受託し、10団体のNPO法人に対して各3回ずつのファンドレイジング個別支援を行いました。支援の内容は大きく3種類に分かれ、団体のビジョンやミッション、メッセージを共有・最適化し、内部スタッフ同士のコミュニケーションを円滑にする「組織」と、自団体の強み／弱みや支援者の分析を通して、最適な戦術の策定を行う「戦略」、そして、クラウドファンディングやチャリティ講演会などの手法を考える「戦術」で構成されます。

支援先の団体内からは「客観的な視点を入れて、団体の理念を再確認できた」「重要だがこれまでなかなか時間を割けなかった課題に、組織的に取り組めた」などの声をいただきました。



【ファンドレイジング・コンサルティングの実施フロー】

ファンドレイジング・コンサルティングでは、「組織・戦略・戦術」の成長段階を8段階・24評価で分類した、アセスメントツールを使用し、実施する施策の決定から成果の評価までを行っています。





エンガワ

福岡市中央区薬院にあるコレクティブスペース「エンガワ」は、成長してもしなくてもいい場所、交流してもしなくてもいい場所。人がありのまま、ゆるやかに関わりあう空間です。

アカツキのオフィスと空間を共有するコレクティブスペース「エンガワ」では、月に約2回、集まったメンバーと、ご飯と味噌汁、そしてもう一品簡単なおかずを一緒につくり、食べ、片付ける「エンガワの夕げ」というイベントを開催しています。

参加者は「誰でも」「どこからでも」ではなく、かといって「いつものメンバー」でもなく、仕事・プライベートにかかわらずアカツキに出会ってくださった方の中からお声掛けして、5人程度の小人数から、たまに12名程度の大人数で開催しています。特に語り合うテーマを決めず、ゆるやかに対話できる場は、まるで親戚の家の晩御飯にきたような雰囲気だ、仕事で忙しく疲れる毎日の中での癒しだと言われます。

何かを始める場所、やる気のある人が集まる場所、お金を持っている人が利用できる場所は、街中あちこちにありますが、「そうではない場」はなかなか見つかることができません。エンガワは肩書や年齢、職業などによらない、あなたが「あなた」であることを受け入れる場です。そして、アカツキはエンガワを通して、そのような関係性を広げていきます。



クローズアップ！

特に印象に残った事業を紹介します！

① REPW報告書作成

市民参画型でエネルギーの「作り方」を変えていくプロジェクトを全面サポートしました。

NPO法人再生可能エネルギー推進市民フォーラム西日本（REPW）による「適地適発プロジェクト」にお



いて、助成金申請からWebサイト制作、レポート作成までトータルでサポートしました。このプロジェクトでは、小水力発電や太陽光発電など、各地域に適した発電手段を導入していく方法を学ぶために、全3回の自然エネルギー学校とシンポジウムを開催しました。



冊子とPDFで配布された報告書は、読んだ方が自ら地域で実施していけるような構成になっており、多くの方から高い評価をいただいています。また、自然エネルギー学校が実施された佐賀県の三瀬村では、実際に住民による小水力発電の導入の検討会議という、新しい動きが生まれています。

② 草莽塾in福岡

NPOマーケティングを学び、仮説と検証、数値目標と評価が組織内部に浸透してきました。

東京に続いての開催となった「NPOマーケティングで社会を変える！『草莽塾in福岡』」の事務局を務めると同時に、受講団体として参加しました。草莽塾では、受講団体同士で切磋琢磨しながら、自団体のマーケティング施策を約半年間をかけて実施しました。アカツキではセミナー事業の収益改善と拡大のために、顧客ペルソナの作成と営業活動を実施し、3月末までに目標の67%を達成しています。



③ ソンミサン・マウル視察

住民主体で70以上もの起業が生まれているまちで、何が起きているのかを見てきました。

韓国ソウル特別市にあるソンミサン・マウルに、NPO法人ドネルモと協働で視察を行いました。住民主体で70以上もの小さな起業が生まれているこのまちで、何が起き、どんな主体性を引き出す環境づくりが行われているのか学びました。オリジナルのクラウドファンディングサイトを通して、56名の方々から172,500円の支援をいただき、レポート発行や動画製作、報告会の実施を行いました。





4 ふくおかNPO・ボランティア ふえすた 2014

NPOが仲間を増やしていく仕組みを、多様な背景の人たちとともに考える、学びの多い機会でした。

オープニングイベント「『これからのNPOに必要なチカラ』～魅力的な人を巻き込むために～」では、代表理事・永田が有志チームでの企画参加と当日の司会進行を務め、職員・黒田とアカツキフェロー・富永さんが登壇しました。最終日にはブース出展を行い、アカツキの活動趣旨を多くの来場者に伝えました。

5 共働カフェ

明日の公共を担う、NPOと行政、市民が対等に対話を行い相互理解が生まれる貴重な場となりました。

福岡市共働促進アドバイザーである代表理事・永田が、企画の設計と当日のファシリテーションを務めました。NPO職員と市職員、そして市民が、同じテーマで、同じテーブルで、対等に前向きな話を積み重ねていく場が生まれ、今後の共働プロジェクトに一步踏み出した方もおり、希望を感じられる機会でした。



6 事務局体制

多くの仲間を巻き込み、足腰の強い組織になるために、組織基盤の整備に注力しました。

あらたに事務局スタッフに黒田を加え、会計や情報公開において、認定NPO法人の申請要件を満たすレベルを目指し、業務フローやマニュアルの構築など組織基盤の整備に注力しました。また、インターンやプロボノの受け入れも積極的に行い、事業推進の大きな力となっていただきました。

7 NPO法人入門講座

福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」と協働で「NPO法人入門講座」基礎編と実践編を毎月交互に、1年間にわたって開催しました。約200名の方々にご参加いただき、NPO法の歴史、NPOの担う役割、運営のポイントなどをお伝えしました。

8 九州産業大学講義

1月9日、以前からお世話になっている経営学部の間間（ききま）先生のお誘いにより、代表理事・永田が講義の中で大学生に向けて、アカツキの理念や事業内容、NPOとファンドレイジングが持つ可能性についてお話をさせて頂きました。

9 萑崎高校登壇

3月11日、事務局長・松島の母校である、山梨県立萑崎（にらさき）高校で開催された「キャリア教育推進講座」に松島が登壇しました。2学年277名の生徒に、アカツキの趣旨や活動を紹介し、NPOという社会とつながる働き方を紹介してきました。

会計報告

活動計算書 ※簡易版

(2013年4月1日～2014年3月31日)

(単位：円)

| | | 特定非営利活動に係る事業 | その他の事業 | 合計 | |
|--------------|---------|-----------------|-----------|-----------|-----------|
| 経常収益 | 受取会費 | 会費収入 | 123,000 | 123,000 | |
| | 受取寄付金 | 寄付金収入 | 275,309 | 275,309 | |
| | 受取助成金等 | 助成金収入 | 1,200,000 | 1,200,000 | |
| | 事業収益 | (1)コンサルティング事業収益 | 2,848,000 | | 2,848,000 |
| | | (2)人材育成事業収益 | 421,500 | | 421,500 |
| | | (3)調査研究事業収益 | 272,500 | | 272,500 |
| | その他収益 | 受取利息/雑収入 | 32,413 | | 32,407 |
| 経常収益 計 | | 5,172,722 | 0 | 5,172,716 | |
| 経常費用 | 事業費 | (1)コンサルティング事業費 | 2,533,481 | 2,861,829 | |
| | | (2)人材育成事業費 | 768,419 | 802,338 | |
| | | (3)調査研究事業費 | 318,290 | 336,869 | |
| | 管理費 | 給与手当/法定福利費/諸謝金 | 156,576 | 21,576 | |
| | | 旅費交通費/研修費 | 125,454 | 66,174 | |
| | | 印刷製本費/消耗品費 | 148,033 | 22,807 | |
| | | 新聞図書費 | 12,460 | 3,220 | |
| | | 租税公課 | 1,263 | 1,263 | |
| | | その他 | 83,760 | 31,660 | |
| | 経常費用 計 | | 4,147,736 | | 4,147,736 |
| 当期経常増減額 | | 1,024,986 | 0 | 1,024,980 | |
| 経常外収益 | 経常外収益 計 | 0 | 0 | 0 | |
| 経常外費用 | 経常外費用 計 | 0 | 0 | 0 | |
| 税引前当期正味財産増減額 | | 1,024,986 | | 1,024,980 | |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 71,000 | | 71,000 | |
| 当期正味財産増減額 | | 1,024,986 | 0 | 953,980 | |
| 前期繰越正味財産額 | | | | 972,058 | |
| 次期繰越正味財産額 | | | | 1,926,038 | |


貸借対照表

(2014年3月31日 現在)

(単位：円)

| 資産の部 | | 負債・正味財産の部 | | | |
|--------|-----------|-------------|-----------|-----------|--------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 | | |
| 流動資産 | (現金・預金) | 流動負債 | 前受金 | 3,000 | |
| | 現金 | | 242,760 | 預り金 | 2,909 |
| | 普通預金 | | 1,450,187 | 未払法人税等 | 71,000 |
| | 現金・預金計 | | 1,692,947 | 流動負債計 | 76,909 |
| | (売上債権) | | | 負債の部合計 | 76,909 |
| | 未収金 | | 310,000 | 正味財産の部 | |
| 売上債権計 | 310,000 | 正味財産 | 前期繰越正味財産額 | 972,058 | |
| 流動資産合計 | 2,002,947 | | 当期正味財産増減額 | 953,980 | |
| | | | 正味財産計 | 1,926,038 | |
| 資産の部合計 | 2,002,947 | 正味財産の部合計 | 1,926,038 | | |
| | | 負債・正味財産の部合計 | 2,002,947 | | |

活動計算書および貸借対照表は、会計帳簿の記載金額と一致し、NPO法人アカツキの収支を正しく示していることを認めます。

監事 栄田佳織 

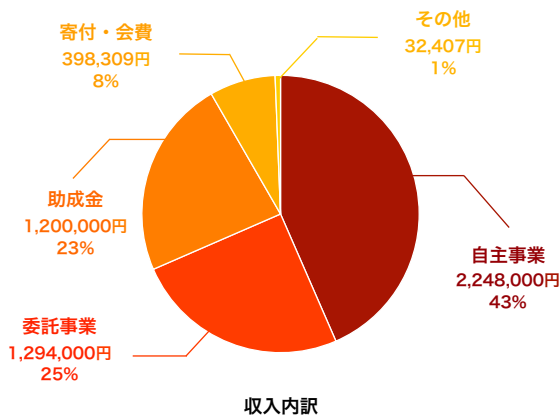
財務分析

2013年度は収入が昨年度から27万円減の517万円、支出が人件費を中心に422万円となり、来年度への繰越金額は95万円です。昨年度からの繰越金を含めると、正味財産は192万円となります。

収入は昨年度より27万円減となったもの、自主事業収入が4.6倍に増加し、より安定した収入構造となっています。支出では人材育成・ネットワーク事業および調査研究事業において、支出が収入を上回っており、コンサルティング事業収入で補うような収支構造となっています。

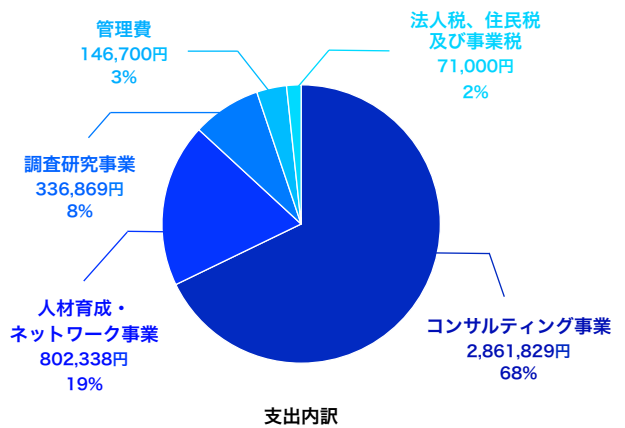
収入分析

収入の内訳は、Webコンサルティング事業を中心とした自主事業収入が43%で最も大きく、福岡県からの委託事業収入が25%を占め、助成金収入が23%、寄付・会費収入が8%です。昨年度より自主事業収入が4.6倍と増加したものの、寄付・会費収入の増加の施策を打つことができず、結果的に目標として掲げていた69万を下回り、40万円にとどまりました。



支出分析

支出の内訳は、事業の遂行に関わる事業費が95%、事務局業務に関わる管理費が3%となりました。アカツキにおいて、主なサービスの内容が知的財産の提供となるため、人件費の割合が大きくなり、支出の37%を占めます。また、2013年度は最新事例の把握と能力向上のため、遠方への研修費や旅費交通費、新聞図書費が多く計上されています。



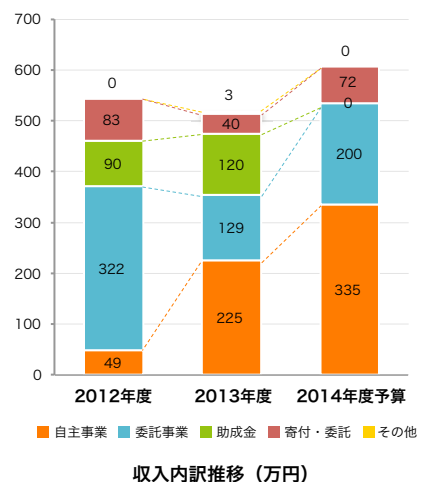
2014年度 収支計画

自主事業および寄付・会費収入の増加をはかり、収入源のバランス改善に継続して取り組みます。

2014年度は①収入増加と②収入源のバランス改善の2点を重点目標として掲げ、その達成のために、商品開発および売上管理を行っていきます。

①Webコンサルティング事業及び講座事業を中心に収益の改善をはかり、収入目標を607万円とします。

②寄付・会費収入の増加のため、ファンドレイジング体制を強化することで、自主事業：委託事業：寄付・会費＝1：1：1を目指し、収入源のバランス改善をはかります。



アカツキの仲間たち

フェロー（正会員）



小島 理絵さん（日本私立大学協会／クルミド出版）
遠く900キロ離れた東京にいても、アカツキの存在が私を生かし（活かし）てくれていると感じることがあります。これからも、ともにいたい想いです。

- 池本 桂子さん（NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会）
- 宇都 龍志さん
- 小淵 亮兵さん（株式会社ベイカレント・コンサルティング）
- 西塔 ともみさん（株式会社DMX）

- 佐々木 悠史さん（NPO法人アカツキ）
- 澤口 敬太さん（偽百姓～今日もみんな、おいしくごはん～）
- 鈴木 大空さん（株式会社ウイングル）
- 多原 真美さん（NPO法人NGO福岡ネットワーク）
- 富永 沙和さん（エフコープ生活協同組合）
- 西本 郎羅さん（マザーハウス）
- 野崎 大雅さん（アプコグループジャパン株式会社）
- 松島 拓さん（NPO法人アカツキ）

（あいうえお順）

サポーター会員



藤原 かずたかさん
どこからともなく行くたびに増えていく、エンガワのリラックマさんたち。それはみなさんからのアカツキさんへの信頼の証。これからも増やしましょう。

- 大澤 龍さん
- 岡 優子さん
- 影山 知明さん
- 栗田 将行さん

- 黒田 美穂さん
- 末吉 祥子さん
- 杉本 将隆さん
- 平 由以子さん
- 手島 真実さん
- 中里 明日香さん
- 原田 君子さん
- 藤見 里紗さん
- マクリ マイケルさん
- 松島 弘哉さん
- 松田 美幸さん
- 村田 那菜子さん
- 八尋 さおりさん

（あいうえお順）

事業推進でお世話になった団体・協働事業先



大中 幸子さん（NPO法人環境未来センター「希望」）
アカツキの理事は、それぞれが個性的で補い合う関係性が保たれていますね。更に私の目標である「関係する人々」への配慮が厚く、新しい公共のホープです。



志賀 壮史さん（NPO法人グリーンシティ福岡）
人と自然の関係でも、人と人との関係でも、これからは「がめる」から「わかる」に移ることが大切。そんなキモチはよく似ていると思います。

- ウォローズ福岡
- 認定NPO法人ACE福岡グループ
- 仮認定NPO法人エコけん
- NPO法人NGO福岡ネットワーク
- NPO法人NPO九州
- NPOマーケティング研究所
- NPOマネジメントラボ
- NPO法人大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ
- 岡田純 税理士事務所
- office musubime
- 学校法人神村学園
- NPO法人環境未来センター「希望」
- 北九州都市市民活動サポートセンター
- 北九州市立大学
- NPO法人九州コミュニティ研究所
- 九州大学島谷研究所
- 九州産業大学
- Good Travel
- NPO法人グリーンシティ福岡
- クルミドコーヒー・クルミド出版
- 認定NPO法人子どもの村福岡
- NPO法人再生可能エネルギー推進市民フォーラム西日本
- 株式会社ジーコム
- 合同会社CGFM
- NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会
- 手芸実験室フラスコ
- NPO法人循環生活研究所
- NPO法人障がい者より良い暮らしネット
- NPO法人食育推進ネットワーク福岡
- スカイハイツォークストラ
- 一般社団法人ストリート・プロジェクト
- せりたPR企画
- NPO法人そだちの樹
- NPO法人ソルト・バヤタス
- NPO法人大地と人をつなぐ会
- TAO
- 認定NPO法人チャイルドライン「もしもしキモチ」
- 津屋崎暮らしの間屋
- NPO法人Teach For Japan九州事業部
- デザインスタジオ のぼせもん
- NPO法人ドネルモ
- 仮認定NPO法人日本ファンドレイジング協会
- NPO法人ハッピーライド
- ビーンズカフェ
- 株式会社ビッグトゥリー
- 福岡県NPO・ボランティアセンター
- 福岡県中小企業家同友会ソーシャルビジネス委員会
- 福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」
- NPO法人福岡被災地前進支援
- NPO法人プロボノアジア
- NPO法人マドレポニータ
- NPO法人ミラツク
- 山梨県立韮崎（にらさき）高校
- NPO法人ロシナンテス
- 株式会社ワーキングハセガワ
- NPO法人ワークinならや わくワーク館
- 若手NPO勉強会

（あいうえお順・敬称略）

*本年次報告書では「特定非営利活動法人」が正式名称の団体もすべて「NPO法人」で表記させていただいております。ご了承ください。

2014年度事業方針

大きな飛躍のために、主事業の商品開発と、収入改善による組織基盤の強化の3年目にします。

初年度にあたる2012年度は企業を対象とするNPO紹介冊子「ふくおかNPO50～CSRパートナーカタログ～」の制作を通して、福岡県内で活躍するNPO50団体との関係性を築きました。2013年度は「認定取得促進事業」を通して、ファンドレイジング・コンサルティングの手法を体系化・構造化しました。

3年目となる2014年度は、下記2点を重点目標に、持続的な組織経営のため、サービスの向上と、より安定した収入構造の構築をはかります。

① ファンドレイジング・コンサルティング事業の収益モデルを構築・検証します。

2015年度以降の事業展開に向けて、収益モデルの構築と、支援パッケージや評価指標などの商品開発をさらに進めます。

② 講座事業及びWebサイト制作事業を中心に、収入を改善します。

今後の事業展開のために収支改善をはかります。営業の強化を行うとともに、数値目標を達成すべく、コストと売上の管理を徹底します。

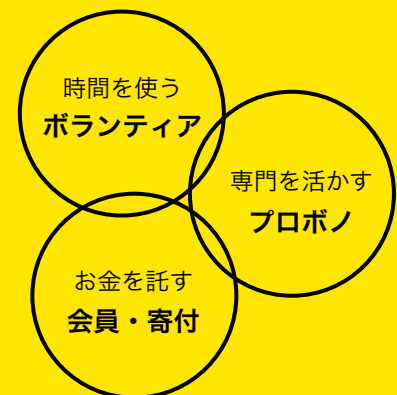
コレクティブスペース「エンガワ」では、隔週で「エンガワの夕げ」の開催を行うほか、運営サポート制度「一口家主の会」の導入を検討します。

事務局では、ファンドレイジング体制を中心にさらに整備をすすめ、足腰の強い組織にしていきます。また、私たちに拓かれた組織を目指し、安心して働ける環境づくりにも力を入れていきます。

持ち寄って働く、寄り合って暮らす。
それぞれの『私たち』に拓かれた社会へ。

アカツキのビジョンを達成するためには言葉そのものが表しているように私たちの力だけでは足りません。

自由な時間を使うボランティア、専門知識を活かすプロボノ、お金を託す寄付・会員など、関わり方はさまざま。



NPOや寄付のこと、コンサルティング、エンガワの場づくりに興味のある方には、学びながら働くインターンシップもおすすめてです。まずはお気軽にアカツキまでご連絡ください。お問い合わせは [info@aka-tsuki.org] まで。

楽しいことは2人分、悲しいことは半分。

ともに『私たち』に拓かれた社会をつくりませんか？
あなたが「持ち寄って」くださることを募集しています。

関わり方の提案

**If You Want To Go Fast, Go Alone.
If You Want To Go Far, Go Together.**

— 早く行きたければ一人で行け、遠くへ行きたければ皆で行け —
(アフリカのことわざ)

団体名 | NPO法人アカツキ
住所 | 〒811-1321 福岡県福岡市南区柳瀬2-16-24
E-mail | info@aka-tsuki.org
Website | <http://aka-tsuki.org/>
Facebook | <https://www.facebook.com/npo.akatsuki>

*本年年報報告書の作成にはアカツキフェロー（正会員）の小島理絵さんにご協力いただきました。